

令和4年度事業計画

1 基本方針

一昨年来より続く新型コロナウイルスは、当センター事業にも影響を及ぼしており、特に施設管理の就業機会への影響は多大であり、継続して感染予防を徹底するなかで速やかに通常の生活と就労の環境が戻ることを期待しています。

シルバー人材センターは、こうした状況を注視しながら少子高齢の進行や地域の人手不足に対応でき得るよう、これまで以上に会員拡大に努め、会員の健康を保持し、安全な就労を基底にした就業を通して地域住民の福祉および社会の発展に貢献するとともに、会員一人ひとりが生き甲斐を持って就業できるシルバー人材センターとなるよう取組んでいく必要があります。

そのため、第一の柱として会員の拡大です。中期計画では、令和4年度末には349人を目標としています。地域のニーズに応えるためにも会員拡大は必要不可欠あり、役職員及び会員一同が力を合わせて取組まなければならない課題です。なかでも女性会員の拡大は、全国シルバー人材センターの重要課題として位置づけられており、拡大の余地が充分ある分野であるため今後の取組みを強化します。また、本年度会員拡大の窓口として商工会議所および商工会に加入し、企業の退職予定者への加入促進を計画しています。元気で働く意欲溢れるシニア世代の皆様は、「年金以外の収入を得る」に加え、活力の源となる「楽しく働く機会」を紹介できるセンターを目指す旨を案内して会員募集に努めてまいります。

第二の柱として、令和2年度から取組んでいるシルバーネットワーク事業（ご近所の家事お手伝いサービス）の推進です。当センターでは様々な就業により地域ニーズに対応し地域貢献しているところですが、この新たな事業では、会員が地域の一員として地域内で支援を必要とされている高齢者等に「ちょっとした」支援をする連絡網により地域の高齢家庭のお手伝いを支援する事業を進めてまいります。

第三の柱として、シルバー人材センター事業の普及啓発です。このことは、

会員拡大や就業機会の拡大を推進していく上で重要な取組みであり、様々な機会や方法によりシルバー事業の有益性を地域の皆様に広く知っていただくことで入会と受注の拡大に繋げてまいります。

第四の柱は、令和5年10月から導入されるインボイス制度への対応です。この制度は、会員の配分金に係る消費税に関わる重要なことであり、今後の制度の動向をみながら全国シルバー人材センター事業協会及び広島県シルバー人材センター連合会等と連携しながら対応してまいります。

この四つの柱を中心に、会員が元気で楽しく就業できる環境をつくるとともに、シルバー人材センターの健全な財政運営の確立に努め、市民の皆様に親しまれ信頼される府中市シルバー人材センターと成れるように努めてまいります。

令和4年度目標計画 (累計)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員数(人)	334	335	337	339	341	343	345	346	347	348	349	349
就業率(%)	50	55	60	65	70	75	77	78	80	82	83	84
就業延人員(千人日)	2.0	4.5	7.2	10.0	13.0	15.5	18.5	21.5	23.5	25.0	26.0	27.1
契約金額(百万円)	9.5	21.5	35.5	50.0	60.0	75.0	90.0	105.0	120.0	130.0	140.0	150.3

2 事業実施計画

事業実施に当たっては、第2次中期計画を指針とし、より効率的で効果的な事業運営に努めてまいります。

(1) 会員数の拡大

地域社会の需要に応えるためには、会員の拡大は最重要課題であります。市全域を対象とした普及活動を継続して行うとともに、役職員および会員の友人・知人へ入会を案内する地縁人縁による活動を推進してまいります。

- ① 随時の入会説明会の開催
- ② ホームページでの募集記事および会員活動の紹介
- ③ 府中市広報や新聞チラシ折込による会員募集およびセンター事業のPR
- ④ 会員拡大強化月間の設定による入会に向けた紹介活動の推進

この期間内での紹介により新規会員を入会に導いた会員には、ポイント表彰の普及啓発に割増してポイントを付与

- ⑤ 会報の定期発行による会員へのセンター事業の状況の周知および会員の連携強化
- ⑥ 商工会議所および商工会での企業退職予定者に対する入会促進活動
- ⑦ ハローワークとの連携による就業希望者の受入れ
- ⑧ 夫婦入会の促進による女性会員拡大

(2) シルバーネットワーク事業（ご近所の家事お手伝いサービス）

高齢化率が上昇する中で、会員が地域の一員として地域内の家事援助を目指して、令和2年度に着手したシルバーネットワーク事業（ご近所の家事お手伝いサービス）を継続して取組みます。

- ① 事業についてのアンケート調査の実施
- ② 説明会の実施
- ③ 組織づくりについての協議会開催
- ④ 組織結成地域への事業の周知および受注開始

(3) 機能向上および就業機会の確保と拡大

シルバー事業の根幹である就業機会の確保と拡大のため、会員の得意分野を分析し、社会の需要にマッチした新たな就業の開拓を目指します。

- ① 地域の実情に合った就業開拓の拡大
- ② 公共施設の清掃活動による就業機会の拡大
- ③ 家事援助サービスの普及活動に合わせた女性会員の拡大
- ④ 技能研修会実施による就業機会の拡大
- ⑤ 就業などに関する意見の聞き取りによる事業運営の向上

(4) センター事業の普及啓発活動の推進

センター事業の意義や理念、事業活動等を地域社会に広く周知し、センターに対する理解と支援が得られるよう普及啓発活動を推進します。

- ① 府中市広報誌の活用と報道機関への情報提供
- ② 会報誌の活用
- ③ ホームページの充実
- ④ シルバー普及啓発月間に合わせた活動の推進および新聞チラシやイベント参加による事業の紹介

(5) インボイス制度への対応

令和5年10月1日からインボイス制度が導入された場合、会員の配分金に係る消費税について仕入税額控除を行うことができなくなり新たな経

費負担が発生するため、その対策として事務費引上げにより発注者に負担していただくよう検討していますが、併せて、発注者への丁寧な説明も必要となってまいります。

しかし、この制度による影響は多大であるため、全国シルバー人材センター事業協会及び広島県シルバー人材センター連合会と連携して、発注者、会員およびセンターに不利益にならないような方策を検討してまいります。

なお、この取組みによりインボイス制度による経費を負担する必要がなくなった場合は、事務費の引上げは行わないものとします。

(6) 組織体制の充実

センター事業をより一層充実したものにするため、効率的な事業運営と会員一人ひとりの視点に立ったセンター機能の強化と、シルバーの基本理念に基づき会員の自主的な運営が図られる体制づくりを推進し、組織体制の充実に努めます。

- ① 理事会、委員会等への適時適切な情報提供による事業運営
- ② 職群班の充実
- ③ 効率的な事業運営の推進
- ④ 班長会議等の開催による会員のための働き方の改善・工夫

(7) 安全適性就業の推進

センター事業の運営にあたっては安全就業の確保が最重要事項であることから、安全・適性就業基準に基づき安全措置と安全知識の向上により事故防止に努めます。適性就業については、公平な就業機会の提供が図られるよう現状分析と改善により適正化に努めます。また、安全用具類購入に伴い一部を負担する制度により、会員の安全就業に取り組めます。

- ① 安全委員会の開催
- ② 安全パトロールの実施
- ③ 就業前のミーティングによる安全作業の徹底および就業中における会員間の注意喚起の声掛け実施
- ④ 安全就業標語の募集による安全意識の高揚
- ⑤ 安全就業だより・会報誌等による事故防止の醸成
- ⑥ ヒヤリ・ハット体験事例の募集
- ⑦ 安全用具類購入費負担金制度の活用

(8) 派遣事業の促進

就業機会の確保・拡大を図るため、府中市産業関係室と連携を取りながら労働者派遣事業等による雇用の場の創出に努めます。

(9) 研修会・講習会等の実施

就業機会の促進と職能技術の習得および安全就業の向上を図るために各種の研修会や講習会を実施します。

- ① 当センターの会員による剪定講習会および草刈講習会
- ② 交通安全講習会
- ③ 広島県シルバー人材センター連合会主催の各種研修会

